

さいがいじ じょうほう
災害時の情報について

ひなんじょうほう こうどう
避難情報と「とるべき行動」

避難情報は災害の状況に応じて高槻市が発令します。普段から避難情報の種類と、とるべき行動について確認し、発令された場合には適切な行動をとってください。(内水はん濫による避難情報は発令しません。)

●高槻市が発令する避難情報 ※警戒レベル5は、必ず発令されるものではありません。

警戒レベルと行動を促す情報	防災気象情報	住民がとるべき行動
警戒レベル 5 ※ 緊急安全確保 災害発生又は切迫	●氾濫特別警報 ●大雨特別警報 ●土砂災害特別警報	命の危険 直ちに安全確保! 命の危険が迫っています。出来る限り身の安全を確保する行動をとってください。 自宅の少しでも高い場所へ移動 近隣の少しでも高い場所へ移動 がけから離れた場所へ移動
警戒レベル4までに必ず避難!		
警戒レベル 4 避難指示 災害のおそれ高い	●氾濫危険警報 ●大雨危険警報 ●土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難 安全な場所へ立退き避難しましょう。 市が開設する避難場所へ 安全な親戚・知人宅などへ 自宅の浸水しない上階等へ ハザードマップ等で安全が確認できる場合は屋内安全確保
警戒レベル 3 高齢者等避難 災害のおそれあり	●氾濫警報 ●大雨警報 ●土砂災害警報	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者や障がい者など、自ら避難することが困難な方や避難に時間を要する方は、家族や近隣の方などと連絡を取り合い、避難場所へ避難しましょう。 ●高齢者等以外の方も、必要に応じて普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難しましょう。 市が開設する避難場所へ 安全な親戚・知人宅などへ 自宅の浸水しない上階等へ ハザードマップ等で安全が確認できる場合は屋内安全確保

●気象庁が発表する防災気象情報

警戒レベル 2 気象状況悪化	●氾濫注意報 ●大雨注意報 ●土砂災害注意報	自らの避難行動を確認 ●ハザードマップ等により、災害リスクや避難場所等や避難情報の把握手段の再確認など、自らの避難行動を確認してください。
警戒レベル 1 今後気象状況悪化のおそれ	●早期注意情報	災害への心構えを高める ●防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高めてください。 ●避難場所以外の避難先(安全な親戚・知人宅など)の調整や、屋内安全確保を行う場合は、水や食糧等の備蓄の確認を行ってください。

あら ぼうさい きしょうじょうほう
新たな防災気象情報

令和8年から新たな防災気象情報が運用開始されました。情報名称に警戒レベルの数字を付けるなど、高槻市が発令する避難指示等の避難情報や住民がとるべき避難行動との関係が分かりやすくなりました。また、レベル4相当の情報として危険警報の運用も開始されました。(警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難しましょう。)

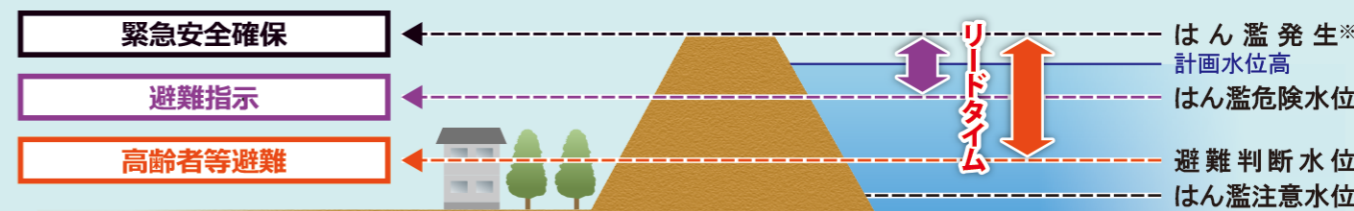
かせん すい いじょうほう
河川の水位情報

淀川は… 淀川河川事務所 芥川・女瀬川等は… 大阪府河川防災情報 検索

河川の水位情報は、河川はん濫に対する避難の目安の情報です。水位情報は、テレビ(NHK総合テレビのdボタン)やインターネットで確認することができます。

警戒水位	発令される避難情報(目安)	淀川 枚方	芥川 芥川橋	女瀬川 天堂橋	檜尾川 檜尾川橋	安威川 千歳橋	水無瀬川 水無瀬橋	河川名 水位観測所
はん濫発生	緊急安全確保	—	—	—	—	—	—	基準水位
はん濫危険水位	避難指示	5.50m	3.30m	3.05m	3.80m	4.55m	2.45m	
避難判断水位	高齢者等避難	5.40m	3.00m	1.60m	3.10m	4.25m	1.95m	
はん濫注意水位	—	4.50m	2.75m	1.50m	3.00m	3.25m	1.50m	
水防団待機水位	—	2.70m	1.25m	0.75m	1.25m	1.25m	1.00m	

●基準水位は、はん濫発生前に避難を完了できるように避難等にかかる時間(リードタイム)を考慮して設定



※はん濫の発生直前や、発生している可能性が高い場合も含まれます。

●早めの避難をお願いする場合 淀川(支川を含む)はん濫警戒時

市民の皆さんが安全に避難できる時間を確保するため、特別警報級の台風接近時などの大規模水害が想定される場合、上記の基準とは異なり、早めの避難を呼びかけます(はん濫発生前の2~1日前)。詳細は市ホームページをご確認ください。

高槻市ホームページID 116687

広域避難を呼びかける際の避難先

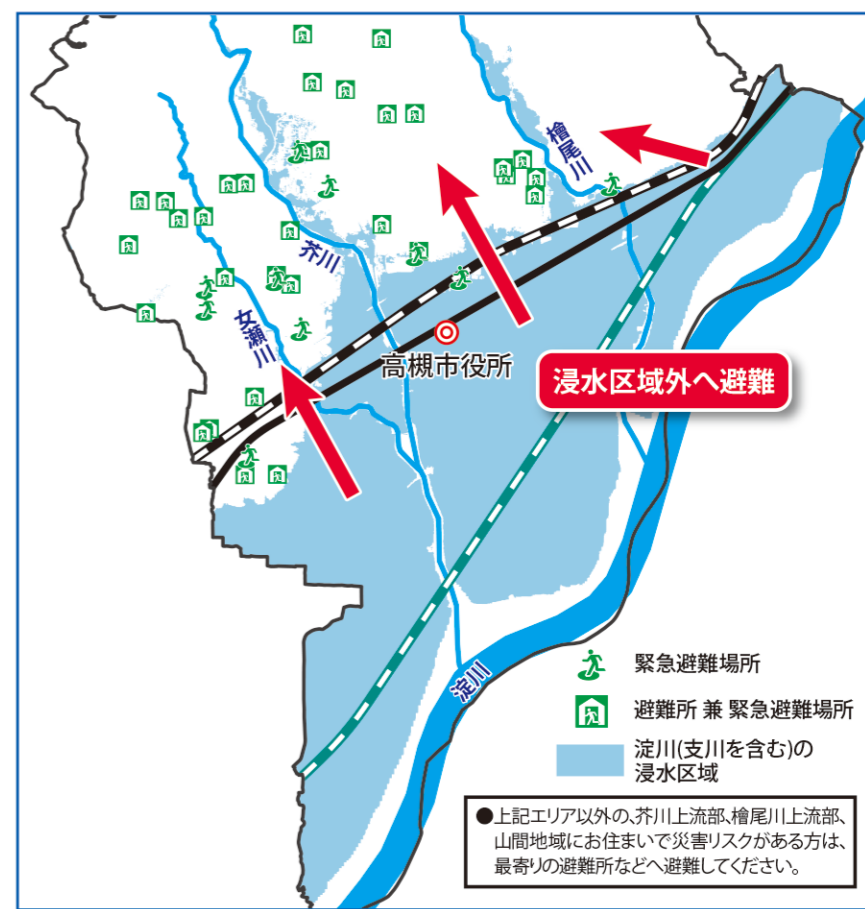
広域避難を呼びかける際には、淀川(支川を含む)による浸水や、土砂災害の危険も想定されない、あらゆる災害リスクから安全な避難場所を開設します。詳細は市ホームページをご確認ください。

高槻市ホームページID 001130

洪水時緊急安全確保施設

浸水が想定されていない避難場所への避難が原則ですが、大規模水害時には逃げ遅れたときなどに命を守るため、緊急的に退避できる施設です。対象施設の一覧や詳細は市ホームページをご確認ください。

高槻市ホームページID 116796



さいがいじょうほう
災害時の情報について

せっきよくてきじょうほうにゆうしゆ
積極的に情報を入手しよう

災害時の情報は、テレビやインターネットなどを活用し、自ら積極的に入手しましょう。

●情報伝達の流れ



! 防災行政無線の内容を聞き漏らしたら...
防災行政無線電話サービス専用
072-674-7476
防災行政無線の放送があった後、左記専用電話番号にかけると、放送終了後48時間以内であれば、放送内容を確認することができます。(通話料がかかります。)また、市ホームページでも確認することができます。

※防災行政無線(屋外スピーカー):避難指示・緊急安全確保を放送する際には、アナウンス前にサイレンを吹鳴します。

●インターネットによる情報入手

<p>防災情報サイト トップページ</p> <p>▶防災における市の取り組み等 高槻市ホームページID 017821</p> <p>https://www.city.takatsuki.osaka.jp/site/bousai/</p>	<p>高槻市公式X(旧Twitter)(公式)高槻市防災情報</p> <p>▶災害時に高槻市の様々な防災情報を配信</p> <p>https://x.com/Takatsuki_Bosai</p>
<p>おおさか防災ネット(高槻市)</p> <p>▶防災関連情報や気象観測情報、交通情報など</p> <p>https://www.osaka-bousai.net/27207/index.html</p>	<p>大阪管区気象台</p> <p>▶大阪府の気象や災害、洪水に関する情報</p> <p>https://www.data.jma.go.jp/osaka/</p>
<p>国土交通省淀川河川事務所</p> <p>▶淀川の洪水予報、水位・雨量情報、ライブカメラなど</p> <p>https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/</p>	<p>国土交通省 川の防災情報</p> <p>▶河川に設置された観測所の雨量・水位など</p> <p>https://www.river.go.jp/</p>
<p>キキクル</p> <p>▶大雨などによる災害の危険度を、色分けされた地図で確認できるツール</p> <p>https://www.jma.go.jp/bosai/risk/</p>	<p>防災ポータルサイト「高槻防災」</p> <p>▶各種防災情報へのリンク先を掲載した防災ポータルサイト</p> <p>https://smappon.jp/poz074xo</p>

●テレビ(dボタン)による情報入手

- NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押して、「防災・生活情報」を選択する。
- 高槻市から情報が発信されていれば、「避難情報(高齢者等避難・避難指示・緊急安全確保)」「避難所開設情報」の表示が赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。
※府内のどこの地域にも情報がない場合は、ボタンがグレーになります。(選択できません。)

●配信による情報入手

おおさか防災ネット「防災情報メール」
おおさか防災ネット「防災情報メール」とは、あらかじめ登録(無料)しておいた携帯端末やパソコンに、大阪府から気象・地震・津波情報、災害時の避難指示などの防災情報がメール配信されるサービスです。

登録方法 「touroku@osaka-bousai.net」へ空メールを送信後、返信されてきた登録用メールに記載のURLに接続し、登録作業を行ってください。(通信料は自己負担となります。)

高槻市LINE公式アカウント
トーク画面にて、災害時の緊急情報などが取得できます。

登録方法 LINEアプリなどで、QRコードを読み取り「高槻市」の「追加」ボタンをクリックしてください。

関係機関連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
高槻市危機管理室 ●災害見舞金等の支給(り災証明書が必要となります) ●り災届出証明書(家屋以外の動産)の発行	072-674-7314	国土交通省淀川河川事務所 ●淀川について	072-843-2861(代)
高槻市下水河川事業課 ●土のうの配布等	072-674-7442	大阪府茨木土木事務所 ●芥川、女瀬川、檜尾川等について	072-627-1121(代)
高槻市下水河川企画課 ●土のうステーション	072-674-7432	<p>隣接の市町の避難所情報等について</p> <p>高槻市に隣接する各市町の避難所情報については、下記までお問い合わせください。</p> <p>茨木市役所……072-622-8121(代) 島本町役場……075-961-5151(代) 摂津市役所……06-6383-1111(代)</p>	
高槻市清掃業務課 ●床上・床下浸水で生じた一般廃棄物の収集・運搬や床下消毒	072-669-1153		
高槻市資産税課 ●り災証明書(家屋)の発行	072-674-7143		

避難する際に知っておくべきこと

避難行動(立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保)

水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず高槻市が指定する避難場所もしくは安全な親戚・知人宅、宿泊施設等へ早めに「立退き避難」することが基本です。また、浸水しない自宅の上階への避難や上層階に留まる「屋内安全確保」により身の安全を確保することも有効です。

立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難することができなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「緊急安全確保」を行ってください。

計画的な避難行動		緊急的な避難行動
<h3>立退き避難</h3> <ul style="list-style-type: none"> 避難行動の基本です。高槻市が指定する避難場所もしくは安全な親戚・知人宅、宿泊施設等へ避難しましょう。 	<h3>屋内安全確保</h3> <ul style="list-style-type: none"> 長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。 	<h3>緊急安全確保</h3> <ul style="list-style-type: none"> 逃げ遅れた場合の行動です。 身の安全を確保できるとは限りません。

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

<h3>避難は原則徒歩で</h3> <p>普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。避難は原則徒歩で。</p>	<h3>集団で助け合おう</h3> <p>単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。</p>
<h3>浸水時に長靴は厳禁</h3> <p>避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。</p>	<h3>安全なルートで避難</h3> <p>避難場所への経路は、川沿いや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。</p>
<h3>危険な箇所近づかない</h3> <p>「注意報」や「警報」が解除されるまで、増水した川などの危険な箇所には近づかないようにしましょう。</p>	<h3>アンダーパスに注意</h3> <p>大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に冠水してしまいます。もしものときに備えて迂回路を確認しておきましょう。</p>

災害時の要配慮者への避難支援

要配慮者とは、災害発生時に自ら避難することが困難で、避難するためには支援が必要な人々のことです。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

※要配慮者利用施設は市ホームページをご確認ください。
高槻市ホームページID 001115

視覚障がいのある人のために

- 声をかけ、わかりやすい口調や音声情報で複数回繰り返して伝える。
- 誘導する際には杖を持った手に触れず、ひじや肩を軽く持つてもらい、少し前をゆっくりと歩く。



聴覚・言語障がいのある人のために

- 顔をまっすぐに相手に向けてゆっくり、口を大きく動かしてわかりやすく伝える。
- 手話・筆談・身振り・手のひらに指で文字を書くなどして情報を伝える。



肢体不自由者の人のために

- 歩行を補助したり、車椅子、ストレッチャー、おんぶひもを利用して避難する。



内部障がいのある人のために

- 外見からは障がいがあることがわからず、自力歩行できる人も多いが、避難に支援が必要な場合もある。
- 医療機器の使用状況などにより、それぞれ必要な支援が異なるため、本人によく聞いて手助ける。

子ども、知的障がいのある人のために

- 慌てさせたり、恐怖心をあおらないよう、落ち着いた優しい声で避難誘導する。

精神障がいのある人のために

- 緊張感やストレスが大きくなりすぎないように、ゆっくりと丁寧な言葉で指示や情報を伝える。

高齢者・寝たきりの人のために

- 緊急のときはおぶって避難する。可能であれば複数の介助者で避難を支援する。



※上記のほか、妊産婦・乳幼児・外国人の方々などについても、それぞれの状況に応じた対応を工夫しましょう。
※上記は一般的な状況を示したものであり、介護度や家族の状況等によって必要とされる支援も異なります。

大雨時の地下は特に危険です

大雨時の地下施設・地下室などは危険です。地下空間は、地上の浸水状況と大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めの避難が必要です。



水深が20~30cmでも、水圧でドアは開かなくなります。



地下駐車場は水につかるおそれがあります。



浸水すると電気が消え、エレベーターは止まります。